

OKINAWA CITY SPECIAL INTERVIEW

「若い世代の力に」 沖縄市で出会った5人が 地元のためにできること



沖縄市で誕生したロックバンド「ORANGE RANGE」。2003年のメジャーデビュー以来数多くのヒット曲を生み出し続けるこの5人組は、実はずっと、沖縄市を拠点に活動を続けています。なぜ多忙を極めた20代の頃でも地元を離れなかったか。そして30代の今、なぜ沖縄市を中心に「人を育てる」活動に取り組み始めているのか。ベースのYOHさんの言葉の中に、その答えがありました。

ORANGE RANGEのメンバーは、YOHさん曰く「出会ったのは遅くて小学校」というほど古くからの幼馴染み。

「沖縄市の中で思い出深い場所は、皆でよく遊んだ山内公園。バンドの練習のあとによく集まっていました。日が暮れるまで皆でバスケットをしたり、本当に多くの時間を過ごしましたね」。そんな青春とも呼べる時代を経て10代でメジャーデビューし、その名は瞬く間に全国区に。しかしYOHさんをはじめほとんどのメンバーは本土へは移り住まず、沖縄市から「通勤する」ように全国へと向かう日々を続けました。その理由を伺うと、身体的

な疲れを差し引いてもなお、強く残るメリットがあったからだといいます。「他の場所や人を俯瞰で見られるし、地元のいいところにも気づきやすい。どんなに時間をかけても沖縄市に帰ってくることで粘り強く踏ん張れた部分があったし、自分としても成長に繋げることができた」。

そんな中、改めて気づいた沖縄市の魅力とは？「異国の様々な文化と対峙し続ける中で生まれた残り香みたいなものが街のいたるところに残っていたりする。その空気感は独特で、国内でもめずらしい風景なんだということを再認識しました」。一方で沖縄市は「分岐点」に立っているように感じるとも。「新たな時代を迎え、今後どう盛り立てようかと、自分たちより若い世代も真剣に向き合うようになっていくと思う」。

多くの人が地域をどのように発展させようかと模索する沖縄市で、「ORANGE RANGEができることは若い世代のサポート」だとYOHさんは断言します。「自分自身が10代、20代の頃は、不慣れな環境と向き合うことで精一杯だったけど、その経験の中で得たことを若い世代へ前

向きな形で還元していきたいんです。30代になった僕らも彼ら、彼女たちから新しい感覚をもらえますし、一緒に切磋琢磨していけたらいい。背伸びをせずにフラットに生きてきた僕らだからこそやれることがあると思う」。実際、ORANGE RANGEがミュージックタウンで開催しているイベント「テレビズナイト」等では、積極的に地域の若者を巻き込み、一丸となってステージを作り上げています。

沖縄市で育った幼馴染同士が、沖縄市の外へ羽ばたき、人並み以上の経験を重ね、再び沖縄市、引いては沖縄へ還元する。ORANGE RANGEにしかできないことが、確かにあるようです。



テレビズナイト

最新のイベント情報は下記のHPからご確認ください。
<https://televisionight.com/>

PROFILE

沖縄市出身の5人【写真左からHIROKI (Vox) / YOH (Ba) / RYO (Vox) / YAMATO (Vox) / NAOTO (Gt)】からなるロックバンド。ジャンルにとらわれない自由かつ高い音楽性と、卓越したポピュラリティが話題となり、数々の名曲を送り出し続けている。



ORANGE

RANGE